(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名:グループホーム木綿葉

作成日: 平成 28 年 4 月 4 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
6	1	新年度に当たり、理念をもとにした振り返りの機 会を持つ。	源氏の理念に対しての評価を行う。新たに 取り入れた方がいい内容など見直し、新た な理念づくりを行う。	今年度初めの定例Meで、理念の見直しや私たちがどこまで理念に対して達成できているかなど評価を行うことの目標設定を行い、以降の定例Mede意見交換、新理念の検討を行う。 (来年の3月までには新たな理念を築く)	12ヶ月
5	10	家族会での参加家族を増やす努力をする。	今年度の家族会への参加家族を増やす。	被弾の面会時から家族会への参加協力の呼びかけを行なう。また、都合のいい曜日などを伺い、早めの日程決定をしてお知らせする。	6ヶ月
4	35	災害備蓄品について、日常的に確保しておくことが必要と思われる。	災害備蓄品の設定、備品の確保を行う。	グループホーム内だけでなく、同法人内で検討する。	6ヶ月
1	40	エプロン使用については首に負担のない使用 方法を検討する。	使用方法の見直しを行う。	次回の定例Meで見直しを行う。	1ヶ月
2	45	浴室の陽の入る窓棚の洗剤管理について。	保管場所の変更を行う。	次回の定例Meで見直しを行う。	1ヶ月
3	52	散歩中に摘んだ季節の草花を共有空間に取り入れる。 日の烟については、自己証価項目のMoを記入して	現在も取り組んでいますが、出来るだけ摘んだ草花を切らずに継続的にあるように努める。	次回の定例Meで各職員へ意識を共有できるように伝達する。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。